



側から吹くことです。このヤマセにより、稲作では冷害に見舞われることが多いこともあり、天候に左右されにくい根菜類の栽培が盛んで、長芋、ゴボウ、だいこん、にんじん等が作られております。

その中で、村の野菜の基幹品目でもあるゴボウについてであります。六ヶ所村では長芋とゴボウは収穫時期が重なっております。

通常であれば冷蔵庫に保管する事を前提とし、作業を平準化させ市場の動向を見ながら出荷し、販売価格の安定を図るところですが、村では長芋用の3の冷蔵庫が平沼と唐貝地の二か所にしか無く、又、ゴボウ用の0の冷蔵庫が有りません。この為、品質を確保し市場価格を考慮した出荷調整が出来ない状況になっております。

昨今ゴボウは、低カロリーなヘルシー食品としての人気が高くなっており、その中でも食物繊維を多く含む事で知られています。食物繊維は、腸内の発がん性

物質を吸着する作用が有ることから、大腸ガンの発生率を抑える作用があり、また便通を良くすることから腸内の発がん性物質の停滞時間を短くするメリットもあり、テレビ番組等でも取り上げられており、青森県産のゴボウは消費者に好評と聞いております。

村では現在、長芋用保冷庫の設置を計画していると聞いておりますが、ゴボウを作付けしている農家の方々の収入安定のためにも、同時にゴボウ用の保冷庫も併設する様に出来ないか、村長のお考えをお伺い致します。

古川村長

の回答

村の長芋、ごぼう栽培は近年、市場販売価格の安定や輪作体系及び栽培技術の確立により、年々作付面積が拡大し野菜農家の主力栽培品目となっております。

現在、ごぼうの貯蔵及び出荷については、ゆうき青森農業協同組合六ヶ所支所

管理の野菜貯蔵施設すべてを活用し貯蔵・出荷している状況であります。専用の貯蔵施設を有していないことから品質管理上の問題や販売価格の優位性で懸念される点もあり、特産品として付加価値を更に高めるためにも施設の充実を図ることとは理解できるところであります。

このことから村では、根菜類の周年出荷体制の確立を図ることで農業所得向上や労働力負担軽減による安定した農業経営基盤の強化を目的として、長芋の洗浄選別・貯蔵施設の計画を進めているところであります。

この貯蔵施設への併設には、計画事業費の増大が見込まれることや立地条件の制約、補助事業選択要件として適切かどうか等、解決すべきいくつかの課題もあることから、農業協同組合からの要望を踏まえた上で、今後、多面的利用機能を備えた計画施設となるよう関係機関とも十分協議しながら検討して参ります。



(2)六ヶ所村として日本原燃の保守 点検業務に係る考え方について

岡山議員

六ヶ所村は1985年に再処理工場等核燃料サイクル施設の受入れを決め、昨年度までの24年間で、関連する建設工事の県内受注額は、4,767億円という巨額の物でしたが、再処理工場はすでに工事の99%が完成しています。ピーク時の2000年頃には村内に約2,500人いた建設業就業者は、2008年には約1,000人程度まで半減したと聞いております。今年10月には、MOX燃料工場の建設も始まっておりませんが、かつてのような規模には到底至りません。

しかし、現在でも六ヶ所村の商工業は日本原燃(株)を中心に成り立っていると思えます。その中でも、再処理工場の保守点検業務は六ヶ所村にとって産業の柱となっていくのでは無いでしょうか。

この業務は、その性質から高い安全性

が求められる原子力関連施設で、決められた期間ごとに実施が義務付けられる「定期点検」や日常検査及び点検も繰り返して行わなければならない、工場が稼働している限りは続けられる安定的な仕事です。村でも、「六ヶ所村原子力産業協議会」や「原子力事業協会」等を組織しており、様々な活動を行っていると思います。しかし、村として保守点検業務の村内企業の受注状況や、それに携わる就労者の状況等をきめ細かく調査・把握し、地元企業や地元就労者を支援し、村の基幹産業として育てて行くべきだと思いますが、村長のお考えをお聞かせ下さい。

古川村長

の回答

日本原燃(株)に係る保守点検業務等を村の基幹産業として育てていくべきではないかとお尋ねであります。日本原燃(株)の再処理工場アクティブ試験を契機に、国や県また様々な団体等で県内企業の技術力向上のため各種講座や講習会等が開

催されており、村内企業の勤労者も受講されてきたものと思います。

村としても、平成16年度に地元企業の勤労者の技術向上と地域の産業基盤を高め、地域産業経済の発展に寄与することを目的に、「六ヶ所村産業協議会」を設立しており、現在68社が会員となっております。

この六ヶ所村産業協議会は、村の参画は勿論でありますが、発注者である日本原燃(株)と大手企業である、東芝、日立、三菱の六ヶ所事業所を特別会員として迎え、日本原燃(株)でのメンテナンス等のために必要と思われる技術取得のための各種講座や講演会等を実施してきております。また、受講料については受講者等の負担軽減のため、村からの補助金と会費を充て、無料で受講できるようにしております。

過去5ヶ年の実績では、技術向上のための「技術支援基礎講座」、「横型ポンプ必修訓練」など17の講座、講習に延べ





1,015名、原子力に対する知識レベル向上のための講演会に500名以上の地元企業の勤労者の参加を得ており、間違いなく村内企業の技術力の向上に繋がっているものと理解しております。

また、村内企業の勤労者の更なるスキルアップのため、五所川原市にある、青森職業能力開発短期大学校と連携し、生産技術や制御技術、電子情報技術などを習得させるべくカリキュラム作りなどについて協議を重ねており、新たな事業展開に向け、検討されております。

更に村としては、平成23年度以降には商工業関連での人材育成のための資格取得等に係る経費も人材育成基金を活用できるような体制を整え、産業育成につなげていきたいと考えております。

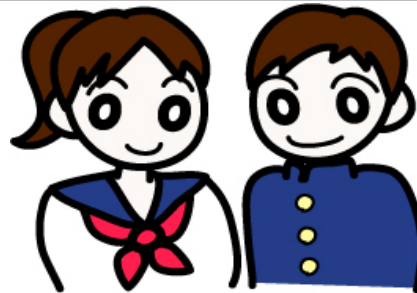
また、地元発注については保守点検業務のみならず、地元発注のできるものは出来るだけ地元発注をして頂けるよう機会あるごとに日本原燃(株)にはお願いして参りたいと考えております。

議員活動報告

つ実現に至った事業等について報告申し上げます。



老人無料入浴券の交付基準を年度内に70歳に到達する者とし、利用しやすくなりました。



幼児等医療費助成制度の外来部分の適用範囲を小学校就学前までから中学校就学終期までに拡大しました。



消防団員加入促進対策として、優良事業所の表彰など行う消防団協力事業所表示制度を導入しました。



農家の利便性を向上させるため、長いも収穫用として貸出しするコンテナ数を1.5倍に拡大しました。



少子化対策の拡充として、特定不妊治療費助成金の制度を設けました。



尾駈レイクタウン北分譲地で、追加の防砂対策が講じられることになりました。

六ヶ所村の将来を決める **村議会議員選挙** 平成**23**年**4**月**24**日(予定)

